

中国四国教育学会

第75回大会プログラム

2023年11月25日(土)・11月26日(日)

広島大学



<目次>

大会参加要領	1
大会日程	2
自由研究発表(第一日)	9
公開シンポジウム	19
自由研究発表(第二日)	21
ラウンドテーブル	31

現時点では対面開催を予定しておりますが、状況によって変更する可能性もございます。最新の情報は学会ホームページ <http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/> をご確認ください。

大会参加要領

0. はじめに

以下にご案内する大会の枠組・参加要領につきましては、状況に鑑み変更される場合がございます。本学会 HP にて最新の情報を掲載しておりますので、大会開催前に逐次ご確認ください。

学会 HP : <https://cssse.hiroshima-u.ac.jp/html/meeting.html>

1. 大会の開催形式と会場案内

自由研究発表、シンポジウム、ラウンドテーブル、総会すべて対面での開催をいたします。

会場図、アクセスについては次頁以降をご覧ください。

お車でお越しの方は、入構はできません。近隣にもコインパーキングはありませんので、公共交通機関をご利用ください。

2. 大会への参加申し込み

大会参加申込期間

10月17日（火）～11月6日（月）

学会 HP に、参加申込 URL を貼付いたしますので、事前申し込みに協力をお願いします。
(当日も受け付けます)

大会参加費：正会員 2,000円（学生会員 1,000円） 臨時（当日）会員 1,000円

現職教員（臨採、非常勤含む）、日本学術振興会特別研究員（PD、DC、DC2、RPD）の方は正会員です。

参加申し込み後のキャンセルや登録内容の変更については一切対応いたしかねます。

受付にて参加申し込みいただいた方への名札をお渡しいたします。

受付開始時間 8:30（一日目）、9:00（二日目）

※感染症対策を徹底いたしております。37.5℃以上の発熱がある方など体調不良がある方の入構は控えていただきたく、よろしくお願い申し上げます。

3. 各部会の持ち方について

■自由研究発表要領

自由研究発表 個人研究：発表15分、質疑 5分

共同研究：発表30分、質疑10分

(ただし、発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)

総括討議は、各部会で最後に20～40分程度行います。発表者は必ず参加してください。

感染症予防対策を徹底の上、ご参加ください。ご発表後は壇上及びマイク機器等の除菌を、離席前・着席前のご自身での机・椅子などの消毒にご協力ください。また、休憩時には会場の換気をお願いいたします。

自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。

また、○印は口頭発表者です。

発表者は、レジュメを30～40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。

液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。また、ノートパソコン（Windows 搭載）をご持参ください。Mac 用アダプターはご持参ください。

発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。

発表取り消しがあった時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

■総会・ラウンドテーブル

対面での開催をいたします。ラウンドテーブルについての配信等は大会校ではお引き受けいたしません。

■公開シンポジウム（対面）

対面で開催をいたします。公開シンポジウムのみ大会参加費をお支払いされずに、ご参加いただけます。

4. 昼食について

大会第一日目（土）は学内食堂（北一食堂）およびマーメイドカフェで昼食をおとりいただけます。
第二日目（日）は学内ではマーメイドカフェのご利用もしくは昼食のご持参をお願いします。大学近辺の飲食施設は徒歩5～10分圏内にごございます。コンビニは会場から徒歩10分程度です。

5. 連絡先

やむをえず**発表を取り消される場合は、速やかに学会事務局まで**ご連絡ください。
その他ご不明な点は、大会実行委員会までお問い合わせ願います。

大会実行委員会および学会事務局連絡先	
中国四国教育学会 第75回大会実行委員会（大会についてのお問い合わせ）	
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院人間社会科学研究科	
第75回大会用メール：cs-taikai75@ml.hiroshima-u.ac.jp	
委員長：木下博義 事務局長：岡村美由規	
委員：伊藤優 中島敦夫 永田忠道 宮里智恵 米沢崇 渡邊巧	
学会事務局（発表取り消しの連絡）	
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院人間社会科学研究科教育学系コース内	
082-424-4610（事務局） cssse@hiroshima-u.ac.jp	
事務局長：曾余田浩史 幹事長：杉田浩崇 事務局幹事：安藤和久・劉幸・掛江真弓	

大会日程

懇親会は諸感染症の流行状況に鑑み中止とさせていただきます。ニューノーマルに向けて鋭意準備して参りましたが、ご期待に応えられず誠に申し訳ございません。

一日目（11月25日（土））		二日目（11月26日（日））	
8:30～	受付開始	9:00～	受付開始
9:30～ 12:20	自由研究発表 教育と社会Ⅰ 教育方法 教育思想・学説 カリキュラム 特別活動・学級経営 音楽教育 教師教育 国語教育 後期中等教育・総合学習 幼児教育学Ⅰ	9:30～ 12:20	自由研究発表 教育史 教育と社会Ⅱ ジェンダー 授業研究 比較教育 学校経営 教育原理 幼児教育学Ⅱ 高等教育・大学生 教科教育学
13:30～ 16:30	公開シンポジウム	13:30～ 15:30	ラウンドテーブル
16:40～ 17:40	総会		

交通のご案内

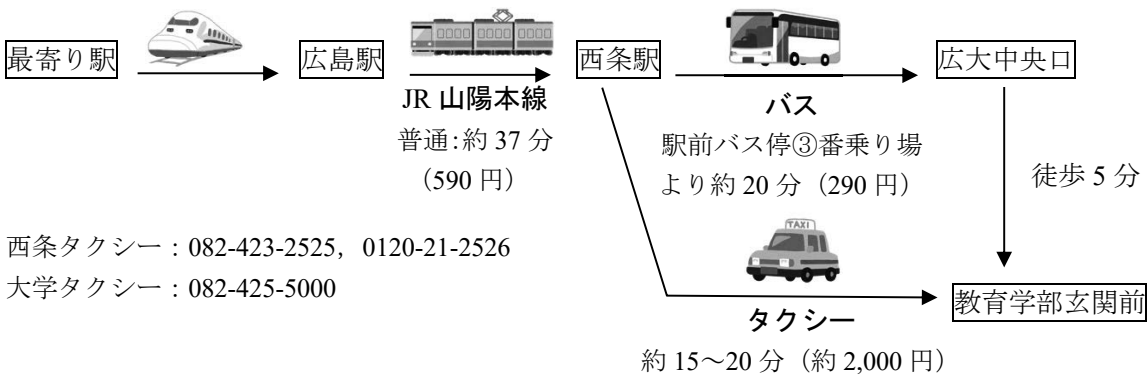
◆山陽新幹線をご利用の場合

- ・東広島駅をご利用の場合



東広島タクシー：082-423-2121, 0120-33-1260

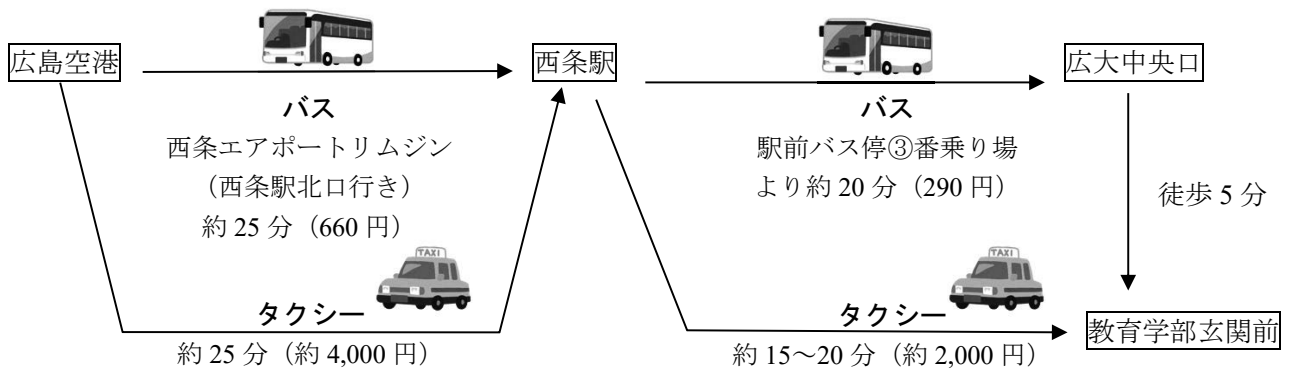
- ・広島駅経由でご利用の場合



西条タクシー：082-423-2525, 0120-21-2526

大学タクシー：082-425-5000

◆広島空港をご利用の場合



広島空港から広島大学までの直通的交通機関はございません。

広島空港から西条駅までの時刻表は次の URL をご覧ください。

<https://www.hij.airport.jp/access/timetable/8.html>

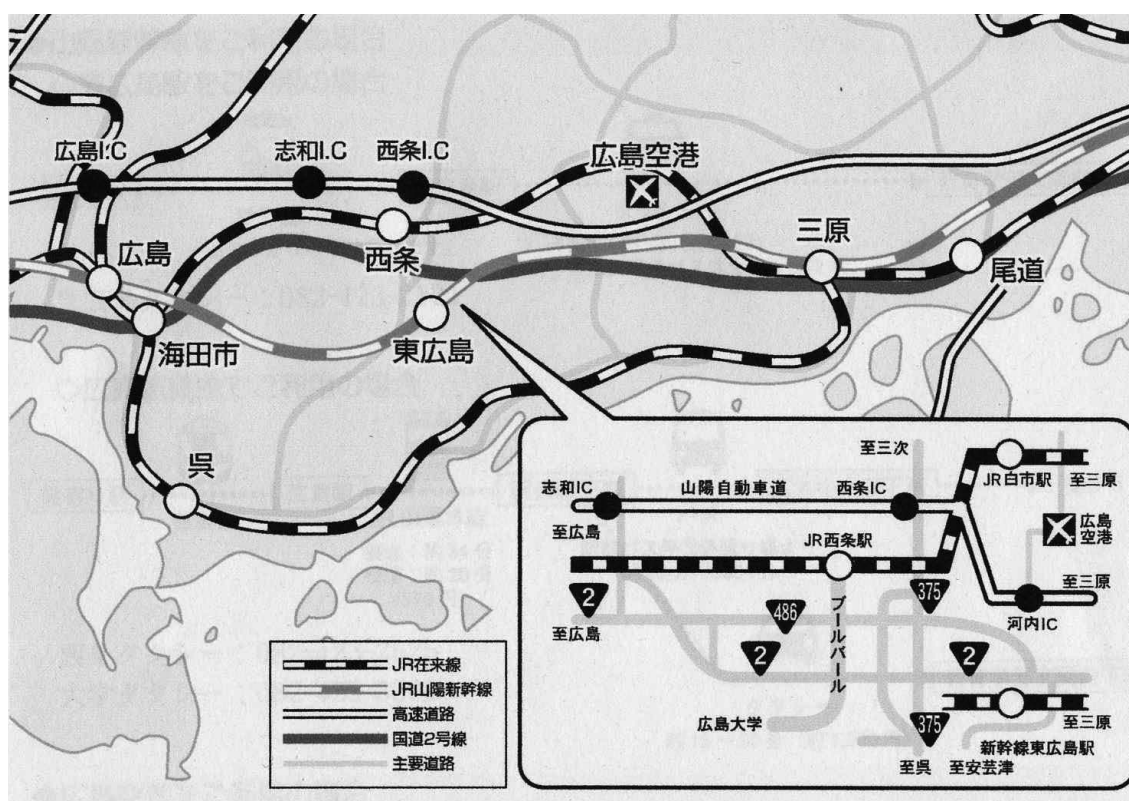
◆広島市内から高速バスをご利用の場合

広島バスセンター（一部は広島駅）から、広島大学行き的高速バスが運行されています。

(広島バスセンター⇄広島大学 所要時間：約 1 時間、料金：片道 1,100 円、往復 1,870 円)

時刻表は次の URL をご覧ください。 https://www.h-buscenter.com/timetable/schedule_kennai.php?id=32

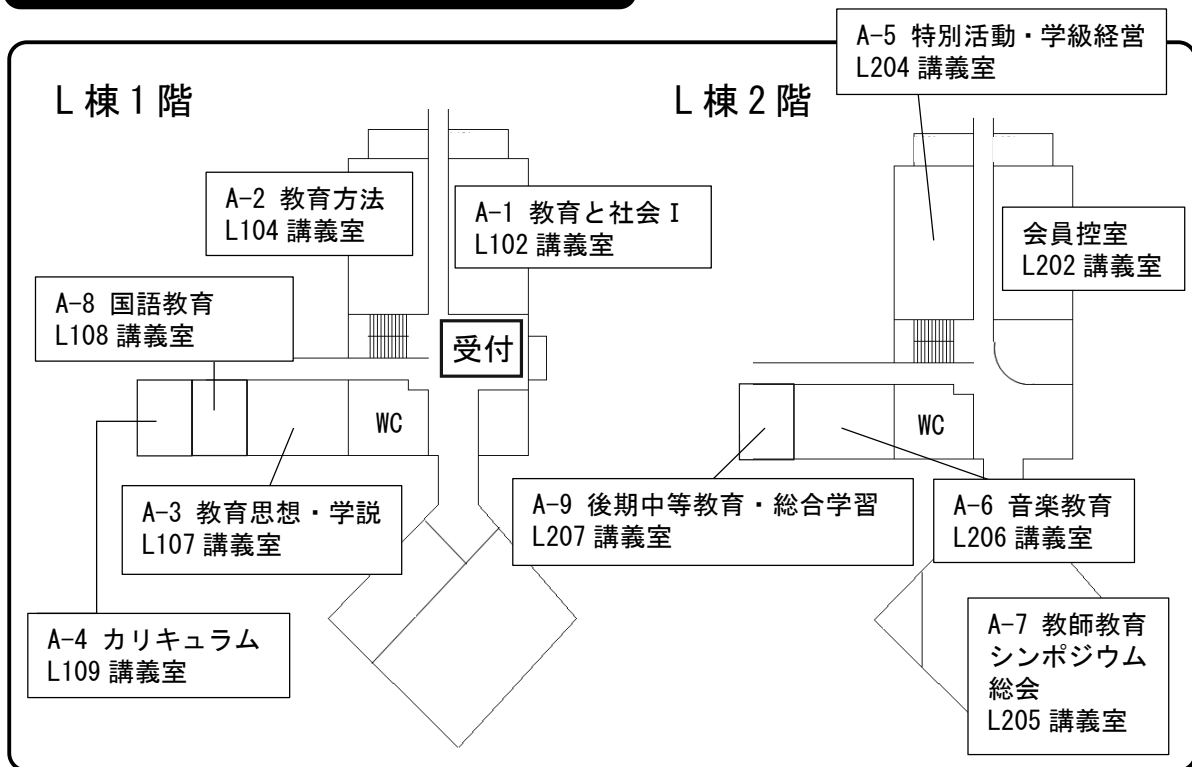
交通のご案内



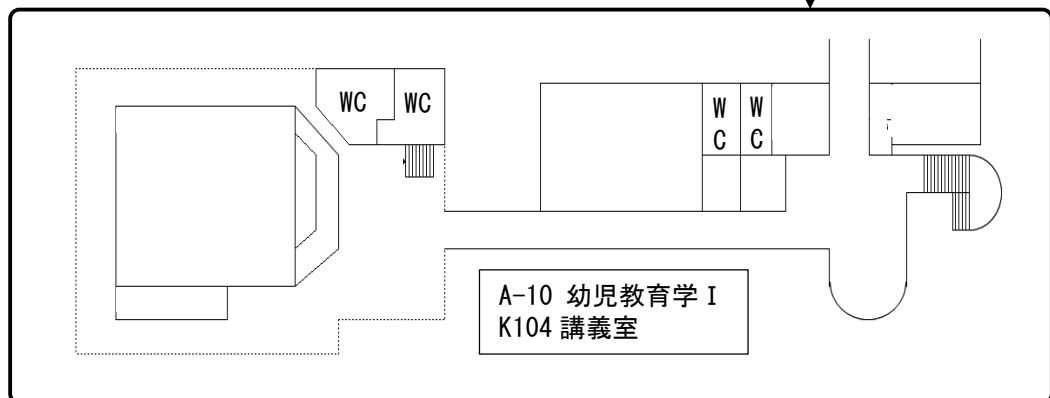
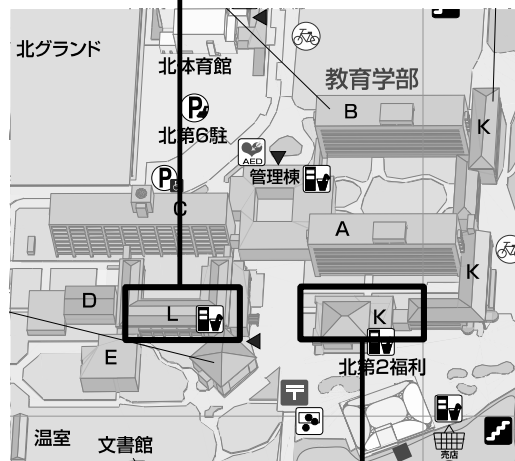
バス時刻表 西条駅⇄広島大学（土日用）

西条駅発	広大中央口着	西条駅発	広大中央口着	広大中央口発	西条駅着	広大中央口発	西条駅着
7:48	8:00	13:48	14:00	8:17	8:40	15:00	15:23
8:05	8:17	14:18	14:30	8:42	9:05	15:30	15:53
8:30	8:42	14:48	15:00	8:52	9:15	16:00	16:23
8:40	8:52	15:18	15:30	9:07	9:30	16:12	16:40
8:55	9:07	15:48	16:00	9:27	9:48	16:20	16:43
9:15	9:27	16:00	16:12	9:42	10:03	16:45	17:13
9:18	9:30	16:33	16:45	10:15	10:36	17:12	17:40
9:30	9:42	17:00	17:12	10:45	11:06	17:27	17:55
10:03	10:15	17:15	17:27	11:00	11:21	18:02	18:30
10:33	10:45	17:50	18:02	11:22	11:43	18:17	18:45
10:48	11:00	18:05	18:17	11:45	12:06	18:30	18:58
11:10	11:22	18:18	18:30	12:15	12:36	19:10	19:38
11:33	11:45	18:58	19:10	12:30	12:51	19:30	19:53
12:03	12:15	19:18	19:30	13:00	13:21	20:12	20:33
12:18	12:30	20:00	20:12	13:30	13:51	21:20	21:41
12:48	13:00	21:08	21:20	14:00	14:21		
13:18	13:30	22:02	22:14	14:30	14:51		

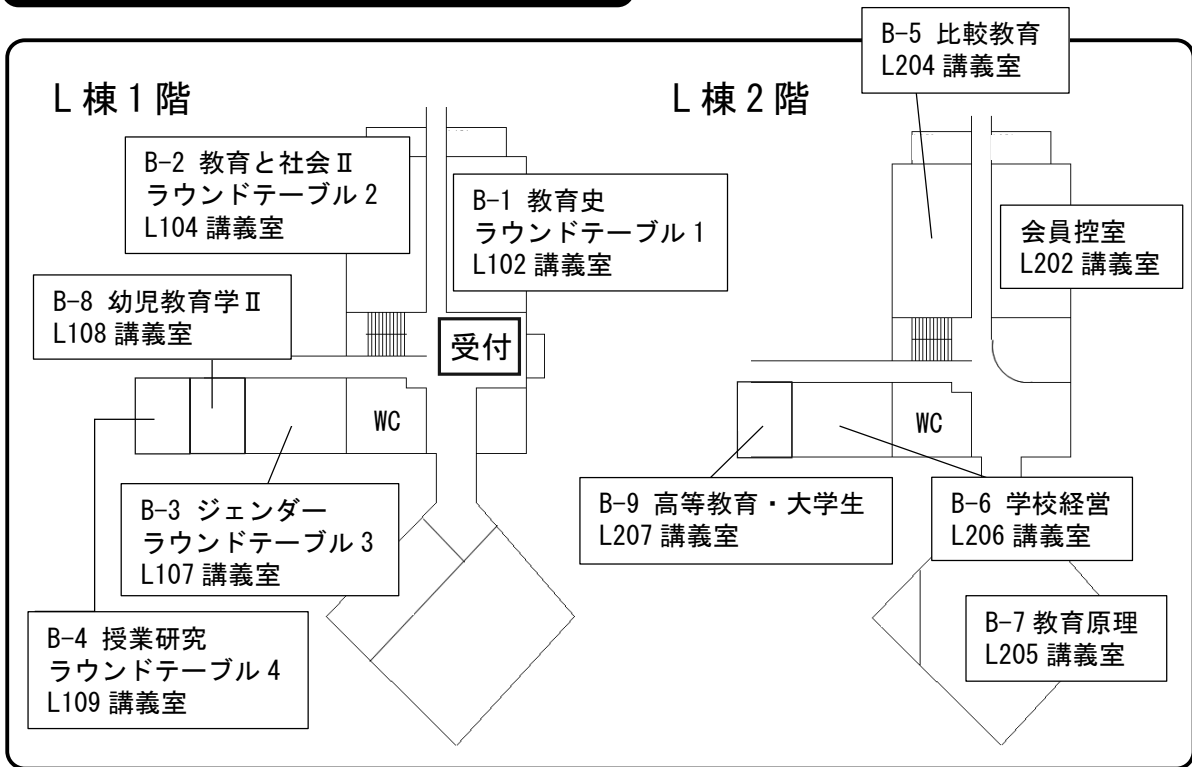
11月25日(土) 会場案内図



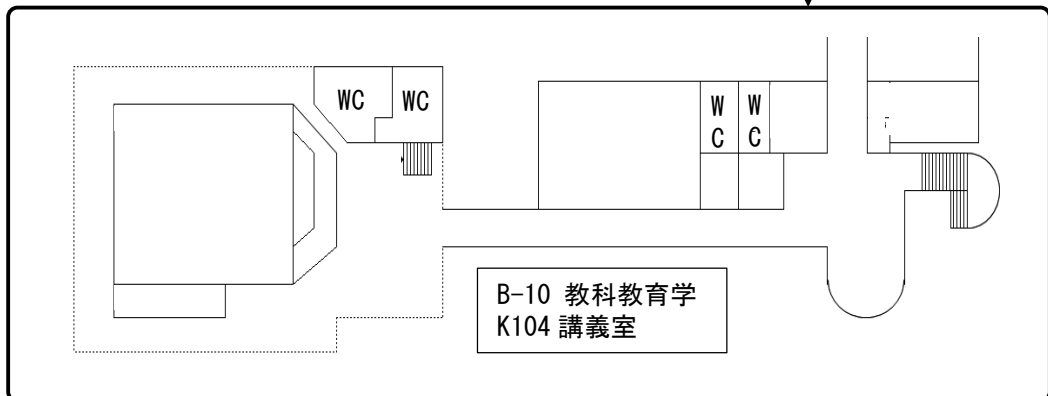
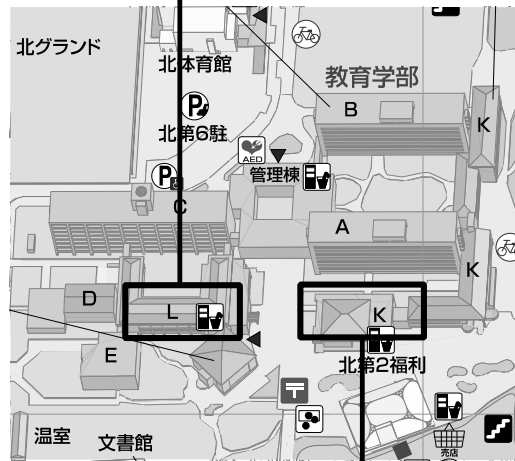
- 学会事務局控室
第1会議室
- シンポジスト控室
第2会議室
- クローク・実行委員控室
第3・4会議室



11月26日(日) 会場案内図



- 学会事務局控室
第1会議室
- クローク・実行委員控室
第3・4会議室



『教育学研究紀要（CD-ROM版）』第69巻（2023年度刊行予定） 原稿募集

中国四国教育学会では、『教育学研究紀要（CD-ROM版）』第69巻を刊行するため、広く会員の方々から投稿原稿を募集いたします。つきましては、下記に従い、投稿原稿を提出いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 原稿提出締切（厳守）

2023年12月8日（金）23:59まで

2. 原稿提出方法

今年度の投稿はオンライン提出にて行う予定です。

投稿フォームは学会HPに大会後に掲載いたします。

学会HP「機関誌」内、「教育学研究紀要掲載申込について」

<http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/html/keisai.html>

3. 投稿資格（編集規程・要綱をよくご確認ください。）

刊行当該年度の学会大会で発表した者

論文原稿は未刊行のもので、当該年度の学会大会で発表したものに限り。

投稿件数は、原則として1人1編とする。共同研究など連名で投稿する場合は2編まで許可する。ただし、代表執筆者として投稿できるのは、個人研究・共同研究を問わず、1人1編までとする。

ラウンドテーブルなどの成果に基づく論文に関しては、編集委員会の承認を経て別途掲載することができる。

4. 原稿提出に関する注意事項

(1) 原稿執筆にあたっては、**必ず原稿執筆テンプレートをご使用ください。**学会HPに掲載されている「中国四国教育学会倫理綱領」、および『教育学研究紀要（CD-ROM版）』編集規程および執筆要綱をご参照ください。

なお、**掲載申込用紙、原稿執筆テンプレート（個人研究用） / （共同研究用）、投稿者チェックリストは学会HPに掲載しておりますので、ダウンロードしてご使用ください。**

(2) 原稿は、完成原稿をご提出ください。原稿執筆者による校正はございません。

(3) 紀要掲載費は、**個人研究及び共同研究いずれも5,000円**です。掲載費納入締切は原稿提出日に準じます。

(4) **例年、書式の設定等、原稿執筆要綱を遵守されていない原稿が数多く見受けられます。原稿執筆要綱に著しく反する原稿については受理いたしかねます。ご注意ください。**

※研究成果の公表は学術的根拠に基づき、虚偽や剽窃等のないようご配慮願います。

以上

なお、ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

〔お問い合わせ先〕

広島大学大学院人間社会科学研究科 教育学講座内

中国四国教育学会事務局

『教育学研究紀要（CD-ROM版）』担当 劉 幸

E-mail : csssej@hiroshima-u.ac.jp

大会 第一日

A-1 「教育と社会 I」 部会

会場：L102講義室 9：30～12：20

司会：都島 梨紗
(岡山大学)

- ① 9:30 資格課程学生の「進路変更」経験
－地方の私立大学を事例に－
金弘 実久
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 学級における合意形成・活用過程
－小学校低学年の事例から－
○篠原 亘輔
(愛媛大学大学院・院生)
梅田 崇広
(愛媛大学)
- ③ 10:10 専門学校教員の語りに関する一考察
山本 優
(河原医療福祉専門学校)
- ④ 10:30 在日中国人家族に対する子育ての現状調査及び支援資源の
利用現状について
左 原
(鳴門教育大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 中国における中学校からの進学に関する政策の変遷
包 婉蓉
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 日本語学校での「進路指導」の現状と課題
劉 穎
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 中国の職業高級中学における生徒の進路選択
－「葛藤」をめぐる語りに着目して－
時 越偉
(広島大学大学院・院生)
- 12:00 【全体会】

大会第一日 11月25日(土)

A-2「教育方法」部会

会場：L104講義室 9：30～12：20

司会：尾島 卓
(岡山大学)

- ① 9:30 ドイツにおける政治教育の展開と政治教授学の成立に関する研究 大城 朝周
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 デューイの民主主義教育論の今日的意義と課題に関する一考察 明 月
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 集団で学ぶことによるケアする主体の形成に関する研究 阿蘇 真早子
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 インクルーシブ教育における教師集団の共同とカリキュラムづくり 吉田 茂孝
(大阪教育大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 ブリンクマン (Malte Brinkmann) の現象学的教育学の研究 中野 和光
(美作大学)
- ⑥ 11:20 教育実践におけるケアの系譜と課題
- 熊井 将太
(安田女子大学)
 - 深澤 広明
(安田女子大学)
 - 櫻井 瀬里奈
(安田女子大学・院生)
 - 藤中 真帆
(安田女子大学・院生)

12:00 【全体会】

A-3 「教育思想・学説」部会

会場：L107講義室 9：30～12：20

司会：相馬 宗胤
(高松短期大学)

- ① 9:30 主体の発生に関する存在論的考察
ードゥルーズ出来事論に着目してー 大藤 渉
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 ドイツにおける“Reformpädagogik”研究の展開に関する一
考察 安藤 和久
ー“Reformpädagogik”研究にとっての2010年ー (広島大学)
- ③ 10:10 日本の道徳教育における「哲学対話」の活用について 板野 誠
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 ガダマー解釈学における〈Bildung〉の教育学的意義
ー R. ローティの〈edification〉による再考ー 北村 慎祐
(広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 ホワイトヘッドの誤謬論がもつ教育学的可能性 藤原 翔
(広島大学)
- ⑥ 11:20 篠原助市教育学におけるナトルプの位置 ○佐藤 宗大
(日本女子大学)
○宮本 勇一
(岡山大学)
○深見 奨平
(宮崎大学)

12:00 【全体会】

A-4「カリキュラム」部会

会場：L109講義室 9：30～12：20

司会：八木 秀文
(大阪体育大学)

- ① 9:30 ドイツにおけるインクルーシブな学校づくりに関する一考察
ーライヒ (Reich, K.) のインクルーシブ教授学を手がかりにー 市川 博文
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 科学の関連する現代的な諸問題に対応する資質・能力の育成に向けたカリキュラムの検討
ー中学校理科を中心としてー 三好 美織
(広島大学)
- ③ 10:10 北米カリキュラム研究における現象学的教育学の展開とその射程 藤原 由佳
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 「主体的に学ぶ児童」が育つカリキュラム・マネジメントに関する研究
ー学びの深さ(学力・学習の質)に着目してー 中原 宏美
(広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 P. フレイレのサンパウロ市教育改革における教科教育に関する研究
ー社会科および地理科に着目してー 佐藤 雄一郎
(大阪青山大学)
- ⑥ 11:20 カナダの教育課程におけるコンピテンシーの構造と特質 下村 智子
(三重大学)
- ⑦ 11:40 教育と労働の結合としての総合的な学習に関する一考察
ー東ドイツにおける総合技術教育の評価を手がかりにー 吉田 成章
(広島大学)

12:00 【全体会】

A-5 「特別活動・学級経営」部会

会場：L204講義室 9：30～12：20

司会：松尾 奈美
(島根大学)

- ① 9:30 いじめ予防に向けた授業に関する研究
－良好な人間関係づくりの学習活動を通して－
片山 峻河
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 学卒院生による学級経営への参画を担任教師はいかに捉えているのか
宮重 拓歩
(大分大学教職大学院・院生)
- ③ 10:10 社会課題「地域活性化」と高校教育との関係における課題
－広島県内小規模公立高等学校における実践を通して－
小川 英夫
(広島県立三次看護専門学校・非常勤講師)
- ④ 10:30 宮坂哲文のホームルーム論に関する一考察
－1950年代の教育実践の展開に着目して－
澤田 百花
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 ドイツにおける学級会活動の指導に関する一考察
早川 知宏
(島根大学)
- ⑥ 11:20 特別活動と総合的な学習の時間の関連を図る題材の検討
－「こどものまち」に着目して－
持田 洸
(早稲田大学大学院・院生)
- 11:40 【全体会】

A-6「音楽教育」部会

会場：L206講義室 9：30～12：20

司会：井本 美穂
(岡山理科大学)

- ① 9:30 石井漠記念創作舞踊団の取り組み
ーアウトリーチの中の舞踊教育ー
沖中 春志郎
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ② 9:50 音楽関連科目に関する意識調査からみた音楽の専門性
ー保育者・小学校教員養成課程の教師教育者を対象としてー
○武島 千明
(広島大学大学院・院生)
○平山 裕基
(広島文教大学)
○藤井 菜摘
(九州龍谷短期大学)
○山辺 未希
(仙台青葉学院短期大学)
- ③ 10:30 中学校音楽科における自己調整学習と自己効力感・内発的
価値の関連
ー卒業に向けた合唱練習を対象としてー
小坂 光
(実践女子大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 多様化する生徒の実態を踏まえた中学校音楽科の授業実践
ー個別最適な学びの実現を目指してー
齋藤 紘希
(広島市立日浦中学校)
- 11:20 【全体会】

A-7 「教師教育」部会

会場：L205講義室 9：30～12：20

司会：別惣 淳二
(兵庫教育大学)

- ① 9:30 高等師範学校を前身とする帝大系教育学部での教育学教育に関する考察
—新制名古屋大学教育学部教育学科を事例として— 久恒 拓也
(新見公立大学)
- ② 9:50 社会正義教育の中で社会科教師が果たす役割とは何か？
—シアトル大学における教員養成ストランドと講義との関係性を事例に— 岡井 美咲希
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 ミドルリーダーの育成に関する一考察
—成長の軌跡を通して—
- 米谷 剛
(広島大学)
杉原 満治
(広島大学)
藤川 照彦
(広島大学)
○中島 敦夫
(広島大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 教育実習生に変容と成長をもたらした困難な経験を探る
—M. Agar の Rich Points と Languaculture の視点から— 中島 義和
(広島女学院大学)
- ⑤ 11:20 初任期中学校教員の授業リフレクションに関する実態
—X市保健体育科教員に着目して—
- 大村 悠真
(広島大学大学院・院生)
齊藤 一彦
(広島大学)
- 11:40 【全体会】

A-8 「国語教育」部会

会場：L108講義室 9：30～12：20

司会：間瀬 茂夫
(広島大学)

- ① 9:30 文学に関わる資質・能力を育成する国語科の授業構想
－Riedl & Schweiggert(2014, 2022)：“テキストと作文を書く”を手がかりに－
藤井 義光
(大阪教育大学附属平野小学校)
- ② 9:50 文学的コンピテンシーの考究
－概念規定とその射程－
土山 和久
(大阪教育大学)
- ③ 10:10 中学校に於ける漢文リテラシーの開発の試み
－「直」をめぐる対話を手がかりとして－
○小路口 真理美
(大阪教育大学)
○今井 博登
(大阪教育大学附属平野中学校)
○小林 信之
(大阪教育大学附属池田中学校)

【休憩10分】

- ④ 11:00 国語科学力・目標論の成果と課題
－『国語科教育学研究の成果と展望Ⅲ』を中心に－
森川 蓉子
(関西学院大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 小学校におけるマルチモーダル・アプローチを活かした国語科教育の研究
松岡 礼子
(至学館大学)
- ⑥ 11:40 吃音のある子どもエンパワメントに関する考察
－「話すこと・聞くこと」の学習を中心に－
伊井 健
(関西学院大学大学院・院生)

12:00 【全体会】

A-9 「後期中等教育・総合学習」部会

会場：L207講義室 9：30～12：20

司会：大坂 遊
(周南公立大学)

- ① 9:30 CUPS を用いたリズム創作表現の可能性
ー学習者のメタ認知に着目してー 森保 尚美
(広島女学院大学)
- ② 9:50 教職課程履修学生は「総合的な学習の時間」をどのように
捉えているか 浅井 智雄
ー授業レポートの分析からー (福山平成大学)
- ③ 10:10 高等学校から大学への進学に向けて、出会い(きっかけ)
を通してのキャリア形成の支援について 井川 智嗣
ー高等学校の総合的な探求の時間を通してー (三重大学大学院・院生)
- ④ 10:30 公民科での熟議における高校生の参加スタイルとその要因
ー一年間の論争問題学習実践に対する生徒の認識ー 野瀬 輝
(広島大学大学院・院生)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 「思い」のマネジメント (Management By Belief) を基盤と
したカリキュラム・マネジメントに関する研究 長光 優樹
ー「キャリア形成」と「探究」の一体化を通してー (広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 中国のモンゴル族高校生の無形文化遺産に関する意識研究
ー内モンゴル自治区フフホト市の高校生を対象としてー 索 倫嘎
(広島大学大学院・院生)
- ⑦ 11:40 台湾の高校におけるいじめ観 陳 冠穎
ー教員と生徒の意識差に着目してー (広島大学大学院・院生)

12:00 【全体会】

A-10「幼児教育学Ⅰ」部会

会場：K104講義室 9：30～12：20

司会：深澤 悦子
(広島都市学園大学)

- ① 9:30 中国の幼稚園カリキュラムに関する一考察
- 趙 碩
(江蘇大学教師教育学院)
- 楊 丹
(広島大学大学院・院生)
- 毛 月
(広島大学大学院・院生)
- ② 10:10 中国における児童虐待への支援に関する研究
- 李 静
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:30 『保育の手帖』における鈴木とくの保育論
ー自由保育的発想との関連性を観点としてー
- 武内 裕明
(弘前大学)
- 【休憩10分】
- ④ 11:00 幼稚園・認定こども園におけるリトミックの特徴
- 鹿瀬島 夏子
(エリザベト音楽大学大学院・院生)
- ⑤ 11:20 19世紀アメリカにおける幼小接続カリキュラムの原像
ーセントルイス公立学校幼稚園に焦点を当ててー
- 山本 孝司
(西南学院大学)
- ⑥ 11:40 保育士は保育日誌を毎日書くことをどう捉えているか
- 前田 寛子
(広島大学大学院・院生)
- 12:00 【全体会】

公開シンポジウム

会場：L205講義室
13：30～16：30

子どもの多様性を包摂する保育・教育をめざして

【趣旨】

急速なグローバル化や技術革新は、我々の社会や生活に多様性をもたらし、子どもの育ちや学びのあり方を再考することが求められている。こうした変化の中で、保育・教育も新たな事態に直面していることは明らかである。多様化する社会の中で、多様な背景や文脈をもつ子どもやその育ちと学びを包摂する保育・教育をめざすことが、OECD Education2030や学習指導要領、生徒指導提要でも提起されている。

そこで本シンポジウムでは、学校現場や保育現場を変化する社会として位置付け、多様な背景をもつ子ども一人一人の育ちと学びを包摂する保育・教育の実現をめざすものである。

こうした経緯により、保育を中心に子どもの多様性を包摂する教育・研究に取り組まれている研究者、教科教育（国語教育）を中心に子どもの多様性を包摂する教育・研究に取り組まれている研究者、生徒指導・教育相談を中心に子どもの多様性を包摂する教育・研究に取り組まれている研究者に話題提供を依頼した。話題提供者には、各々の専門領域を視座にして、子ども一人一人の多様性に関する自身の考えを具体的な事例に即して提案していただく。

なお、指定討論者には、子どもの多様性やその育ちと学びを包摂する保育・教育を推進していくための教師の専門性開発（力量形成）を視점에整理いただく予定である。

本シンポジウムを通じて、今を生きる子どもの多様性を包摂する保育・教育のあり方について議論を深めたい。

【司会者】

米沢 崇（広島大学）

渡邊 巧（広島大学）

【話題提供者】

岡花 祈一郎（琉球大学）

多様であることが承認される保育の成立条件

原田 大介（関西学院大学）

国語科教育のインクルーシブ化を考える

山崎 茜（広島大学）

子どもの多様性を包摂し発達を支える包括的生徒指導・教育相談

【指定討論者】

デラコルダ 川島・ティンカ（広島大学）

朝倉 淳（広島大学（名誉教授））

大会 第二日

B-1 「教育史」 部会

会場：L102講義室 9：30～12：20

司会：小宮山 道夫
(広島大学)

- ① 9:30 雑誌『理化教育』における読者層と読者意識に関する考察 田中 卓也
(育英大学)
- ② 9:50 大正新教育期における岡山県倉敷小学校の「自由学習時間」
－児童中心の学習環境と時間割編成の試み－ 鈴木 和正
(常葉大学)
- ③ 10:10 新潟県立柏崎高等女学校における卒業生の進路 烏田 直哉
(東海学園大学)
- ④ 10:30 キモノ文化の学習開発を支援する「足利銘仙」の研究 (II)
－銘仙の発展史を教育内容に組み込む－ 柴 静子
(広島大学名誉教授)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 越境する子どもたちへの教育支援
－戦後イスラエルの青少年支援組織「ユース・アリヤー
(Youth Aliyah)」の活動－ 林 照子
(甲南女子大学)
- ⑥ 11:20 長田新の「社会主義中国教育」認識 劉 幸
(広島大学)
- ⑦ 11:40 教育辞事典にみるニーチェ像の変遷
－日本の教育学におけるニーチェ受容百年史－ 松原 岳行
(九州産業大学)

12:00 【全体会】

B-2「教育と社会Ⅱ」部会

会場：L104講義室 9：30～12：20

司会：山本 優
(河原医療福祉専門学校)

- ① 9:30 ライトノベルのテキスト分析
羅 大為
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 戦前期における工業教員養成制度
陳 冠男
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 中国における教員と保護者の連携
朱 新雅
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 子ども研究における心理・精神をめぐる言説(2)
池田 隆英
(岡山県立大学)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 「いい子」をめぐる教育的課題
ーオートエスノグラフィーを通してー
南 咲貴子
(関西学院大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 学校選択制度変更前後における中学生保護者の変化
藤井 宣彰
(県立広島大学)
- ⑦ 11:40 外国にルーツを持つ子どもへのインクルーシブ教育における展望と課題
ー多文化共生の視点からー
謝 芯怡
(岡山大学大学院・院生)

12:00 【全体会】

B-3 「ジェンダー」部会

会場：L107講義室 9：30～12：20

司会：藤田 由美子
(福岡大学)

- ① 9:30 男女二元論による差別と偏見
ートランス男性Aの語りからー 岡田 萌南
(岡山県立大学大学院・院生)
- ② 9:50 『生徒指導提要(2022年版)』の可能性と課題
ーXジェンダー当事者の視点からー 田中 孝樹
(関西学院大学)
- ③ 10:10 性的アイデンティティをめぐる教育実践の教材論的検討 櫻井 瀬里奈
(安田女子大学大学院・院生)
- ④ 10:30 絵本に表象されるジェンダー規範 明尾 香澄
(エリザベト音楽大学)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 日本における「性教育」イメージの変遷 方 潔
(広島大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 工業系女子の職業選択 ○尾川 満宏
(広島大学)
尾場 友和
(大阪商業大学)

11:40 【全体会】

B-4 「授業研究」 部会

会場：L109講義室 9：30～12：20

司会：熊井 将太
(安田女子大学)

- ① 9:30 CLIL を通じての試み (6)
ーSDGs の課題を意識した soft CLIL の実践ー
中舛 俊宏
(広島県立廿日市高等学校)
- ② 9:50 保育士・幼稚園教諭の養成における大学での「障害児保育」
の授業づくり
ー重複障がい疑われる幼児を想定したコミュニケーション
支援法の可能性ー
福谷 理恵
(至誠館大学)
- ③ 10:10 教授学研究における授業評価の位置と課題に関する研究
ーメンク (Menck, P.) の授業論の展開に即してー
菊池 健太
(広島大学大学院・院生)
- ④ 10:30 対面音楽実技授業に対する遠隔授業から得た視点
ー保育者養成課程での遠隔授業を通してー
伊達 優子
(就実大学・就実短期大学)

【休憩10分】

- ⑤ 11:00 兵庫教育大学における授業研究アーカイブ (仮) の構想と
開発
○松田 充
(兵庫教育大学)
別惣 淳二
(兵庫教育大学)
- ⑥ 11:20 児童の集中と緩和の見極めの重要性
ーモンゴルにおける日本語と音楽の CLIL 授業実践からー
○坂本 南美
(同志社大学)
○井本 美穂
(岡山理科大学)

12:00 【全体会】

B-5 「比較教育」 部会

会場：L204講義室 9：30～12：20

司会：下村 智子
(三重大学)

- ① 9:30 カナダでは歴史正義をめざす歴史教育実践がいかにして正当化されたか？
－学校教育に関する政策の転換を手がかりに－ 村上 遥大
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 韓国の高等学校の「統合社会」教育課程における平和教育 姜 姫銀
(福岡大学)
- ③ 10:10 台湾の大学入試改革からみる公平性・公正性 ○石井 佳奈子
(広島大学大学院・院生)
小川 佳万
(広島大学)
- ④ 10:30 中国におけるいのちの教育の変遷に関する一考察 班 婷
(愛媛大学)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 米国における非通学型学校の増加とチャータースクールに対する規制強化に関する研究 佐々木 司
(山口大学)
－設置認可関係文書の分析 [1]－
- ⑥ 11:20 1970-80年代イングランドにおける「歴史的な見方・考え方」の実証的研究の特質 玉井 慎也
(北海道教育大学釧路校)
(広島大学大学院・院生)
－SCHP ディレクター・Shemilt の評価研究を手がかりに－
- ⑦ 11:40 難民・国内避難民の子どもの権利を保障するための初等教育 角屋 志帆
(鳴門教育大学大学院・院生)

12:00 【全体会】

B-6 「学校経営」部会

会場：L206講義室 9：30～12：20

司会：諏訪 英広
(川崎医療福祉大学)

- ① 9:30 挑み続ける教職員が育つ学校づくりに関する研究 橋本 嘉文
(広島大学大学院・院生)
- ② 9:50 スクールリーダー教育の「課題研究」を学校にいかにか
据えるか 山本 遼
ー戦略クラフティングの立場からの検討ー (大分大学)
- ③ 10:10 学校づくりの動的なデザイン原理としての「写生」に
関する考察 ○曾余田 順子
○曾余田 浩史
(広島大学)

【休憩10分】

- ④ 11:00 『生徒指導提要（令和4年12月）』の検討 石田 美清
ー生徒指導の基礎的概念を中心にー (順天堂大学)
- ⑤ 11:20 アテンションの再教育としてのスクールリーダー教育の
可能性と課題 ○曾余田 浩史
(広島大学)
○曾余田 順子
○金川 舞貴子
(岡山大学)
○山本 遼
(大分大学)
○船川 結衣
(広島大学大学院・院生)

12:00 【全体会】

B-7 「教育原理」 部会

会場：L205講義室 9：30～12：20

司会：丸橋 静香
(島根大学)

- ① 9:30 「個人化社会」におけるコミュニティ概念の検討
ーバウマンの社会理論を手がかりにー
高橋 要
(広島大学大学院・院生)

- ② 9:50 H・アーレント「教育の危機」に関する一考察
ー〈世界〉概念に着目してー
深谷 周平
(広島大学大学院・研究生)

- ③ 10:10 教師に求められる献身性に関する批判的検討
ー感情労働論を手がかりにー
中島 理志
(広島大学大学院・院生)

- ④ 10:30 1950年代後半のヴェーニガー教育理論における「仲間意識」
の特徴
田中 崇教
(広島文教大学)

- 【休憩10分】

- ⑤ 11:00 学校教育において「諦め」を教えることの検討
ー主体性の涵養との関連からー
岡村 美由規
(広島大学)

- ⑥ 11:20 子ども論と自由論の交差域
ー「子どもの自由」を議論するためにー
高須 明根
(広島大学大学院・院生)

- ⑦ 11:40 精神科学的教育学における職業陶冶と一般陶冶のねじれ
宮本 勇一
(岡山大学)

- 12:00 【全体会】

B-8 「幼児教育学Ⅱ」部会

会場：L108講義室 9：30～12：20

司会：武内 裕明
(弘前大学)

- ① 9:30 かけっこ
－運動会の心理学的考察－
中野 桂子
(筑紫女学園大学)
- ② 9:50 保育環境構成における保育者の意識に関する研究
－1歳児保育室の環境構成の変遷に焦点を当てて－
表 夏子
(広島大学大学院・院生)
- ③ 10:10 よこはまりズム研修会の音楽リズムあそびの実践の特徴
－K保育園に着目して－
三村 真弓
(エリザベト音楽大学)
- ④ 10:30 食後の給食場面における保育者の即興的判断に関する一考察
－椅子の上に立つ子どもへの対応に着目して－
曾玉儒
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 設定保育の再評価
子ども主体の保育との関係において
深澤 悦子
(広島都市学園大学)
- ⑥ 11:20 Aこども園における保育者の子ども理解に関する実践的研究
－保育者へのインタビュー調査から課題を探る－
○村上 真理子
(佛教大学大学院・院生)
柏 まり
(佛教大学)
佐藤 和順
(佛教大学)
- 11:40 【全体会】

B-9 「高等教育・大学生」部会

会場：L207講義室 9：30～12：20

司会：葛城 浩一
(神戸大学)

- ① 9:30 大学ポートレート（私学版）における情報発信は十分に行われているのか
－更新情報に着目して－ 竹内 正和
(大手前大学)
- ② 9:50 在日留学生の学習行動に関する一考察
○呉 彤
(西華師範大学)
○楊 丹
(広島大学大学院)
李 憶南
(山梨学院大学)
- 【休憩10分】
- ③ 10:40 47都道府県における大学の学部学科の設置状況
－国公立大学の専門教育の機能分担を中心に－ 山崎 博敏
(広島大学名誉教授)
- ④ 11:00 山陰地域における「教師塾」の課題・成果・展望
－各関係者に対するインタビューを通して－
○大矢 龍弥
(広島大学大学院・院生)
○内田 圭佑
(倉敷芸術科学大学)
○井辺 和杜
(山口県立大学)
佐々木 龍平
(別府大学)
○太田 淳平
(広島大学大学院・院生)
○川本 吉太郎
(広島大学大学院・院生)
○坂本 達也
(広島大学大学院・院生)
○村上 和巖
(広島大学大学院・院生)
○金弘 実久
(広島大学大学院・院生)

11:40 【全体会】

B-10「教科教育学」部会

会場：K104講義室 9：30～12：20

司会：幾田 伸司
(鳴門教育大学)

- ① 9:30 選択体系機能言語学の第二言語学習理論に関する一考察
—K. ハイランドを中心として— 栗村 正仁
(美作大学・非常勤講師)
- ② 9:50 英語リーディングにおける目標設定の理想と現実 本岡 直子
(県立広島大学)
- ③ 10:10 探究活動における教師の役割
—その権威性に着目して— 久賀 隆之
(広島大学附属中・高等学校)
- ④ 10:30 複数教科の教員研修で教師の専門性をいかに育むか
—A県立B高校における社会科教育学者C氏の指導助言を
事例に— 吉田 純太郎
(広島大学大学院・院生)
- 【休憩10分】
- ⑤ 11:00 国語科における教育ファシリテーション 刑部 涼
(大阪教育大学大学院・院生)
- ⑥ 11:20 音楽基礎教育の学習において複合的な音楽構造を捉えるこ
との意義 岡田 陽子
(エリザベト音楽大学)
- 11:40 【全体会】

ラウンドテーブル1

会場：L102講義室
13:30～15:30

沼田家文書にみる知と近代教育
— エゴ・ドキュメントによる教育史研究の可能性 —

【企画者】

井上 快 (甲南大学)
白石 崇人 (広島文教大学)

【提案者】

井上 快 (甲南大学)
「沼田修蔵日記にみる知と近代教育」
白石 崇人 (広島文教大学)
「沼田實日記にみる近代教育・師範教育」

【指定討論者】

三時 眞貴子 (広島大学)
「エゴ・ドキュメントの可能性と限界—イギリス教育史の立場から」

【企画趣旨】

近代日本における知は、近代科学を基軸として、近代教育を通して国民に配分され、国民の知的・精神的・倫理的な統合に深くかかわったとされる。近代日本を生き抜いた個人は、これらの知や教育をいかに受け止めてきたか。本企画は、沼田家文書中の日記をエゴ・ドキュメントとして捉え、近代日本における知と近代教育の研究にいかん資することができるか検討し、あわせて参加者とともに教育史研究の可能性を広く模索したい。なお、本企画は、中国四国教育学会課題研究の報告も兼ねる。

ラウンドテーブル2

会場：L104講義室
13：30～15：30

日本人学校における現地理解教育・ 国際理解教育・市民性教育の現状

【企画者】

高須 明根 (広島大学大学院・院生)	橋本 拓夢 (広島大学大学院・院生)
石井 佳奈子 (広島大学大学院・院生)	服部 美紀 (広島大学大学院・院生)
太田 淳平 (広島大学大学院・院生)	守谷 富士彦 (桃山学院教育大学)
川本 吉太郎 (広島大学大学院・院生)	両角 遼平 (広島大学大学院・院生)
田口 直也 (AIC 国際学院京都初等部)	

【提案者】

高須 明根 (広島大学大学院・院生)
「趣旨説明」

守谷 富士彦 (桃山学院教育大学)
「日本人学校はどのように社会科を教えてきたのか①：現地理解教育・国際理解教育を目指す実践を通して」

両角 遼平 (広島大学大学院・院生)
「日本人学校はどのように社会科を教えてきたのか②：市民性教育を目指す実践を通して」

澁谷 優子 (筑波大学大学院・院生)
「日台国際児の現地理解教育の経験」

高橋 奈々 (東京学芸大学大学院・院生)
「複数の日本人学校での教職経験」

石井佳奈子 (広島大学大学院・院生)
「コメントおよび論点整理」

【企画趣旨】

本企画は、昨年度実施したラウンドテーブル「日本人学校での教職経験者の語りからみるこれからの「公教育」像」の成果を踏まえ、世界各地に点在する日本人学校の現地理解教育・国際理解教育・市民性教育の現状を明らかにすることを目的としている。そのための方法として、まず東京学芸大学の国際教育センター（現在は国際教育グループへと名称変更）が1978年より発刊している『在学教育施設における指導実践記録集』を対象に、とりわけ社会科教育に着目して日本人学校ならではの実践を分析し、その特徴を明らかにする。次に、日本人学校にて児童・生徒として過ごした経験や複数の日本人学校での教職経験から、現地理解教育・国際理解教育・市民性教育の具体的な事例を挙げてもらうことで上記の目的を達成したい。フロアの皆さんとの活発な議論と交流を期待している。なお本企画は、2023-2024年度中国四国教育学会「課題研究」の助成を受けている。

ラウンドテーブル3

会場：L107講義室
13：30～15：30

「歴史的な見方・考え方」を重視する若手歴史教師
のためのオンライン・プラットフォーム（2）

— 参加した教師の単元デザインは研修後いかに変容したか —

【企画者・趣旨説明】

玉井 慎也（北海道教育大学釧路校／広島大学大学院・院生）

『『歴史的な見方・考え方』として『2次的概念』を重視した単元デザインへの変容を促す研修の実際』

【話題提供】

高松 尚平（太宰府市立太宰府西中学校）

『『倫理的次元』を重視した単元デザインの実際：なぜ私は『倫理的次元』を重視するようになったのか』

村田 一郎（大垣市立北中学校）

『『行動的次元』を重視した単元デザインの実際：なぜ私は『行動的次元』を重視するようになったのか』

松本 理敬（滋賀県立東大津高校）

『『歴史的意義』を重視した単元デザインの実際：なぜ私は『歴史的意義』を重視するようになったのか』

【指定討論】

両角 遼平（広島大学大学院・院生）、小栗 優貴（京都教育大学）

【企画趣旨】

日本における教育用語としての「歴史的な見方・考え方」と言えば、「原因と結果」「継続性と変化」が具体例としてすぐに思い付く。しかし、これらありきたりな見方・考え方だけを繰り返し活用するだけでは「歴史的な見方・考え方」の深化・拡張は図れない。

ここで視野を海外に広げると、「歴史的な見方・考え方」に相当する教育用語として「2次的概念」という表現があることに気づく。例えば、「倫理的次元」「行動的次元」「歴史的意義」といった種類がある。正直、これら3つは日本でほとんど重視されていない「歴史的な見方・考え方」である。

本ラウンドテーブルでは、オンライン研修会に参加した「歴史的な見方・考え方」の指導を重視する若手歴史教師3名が、「倫理的次元」「行動的次元」「歴史的意義」という3つの注目されていない「2次的概念」を重視して単元デザインした実際について話題提供し、研修前後の自身の変容に関する省察結果を共有する。

ラウンドテーブル4

会場：L109講義室
13：30～15：30

セルフスタディを語り合う

— 教師教育者の「教えることを教える」ことの探究とその成果 —

【企画者】

齋藤 眞宏（旭川市立大学）
草原 和博（広島大学）
大坂 遊（周南公立大学）
渡邊 巧（広島大学）

【提案者】

大村 龍太郎（東京学芸大学）
教育方法学におけるセルフスタディ
岡村 美由規（広島大学）
教育哲学におけるセルフスタディ
大西 慎也（ノートルダム女子大学）、山内 敏男（兵庫教育大学）
教科教育学におけるセルフスタディ
上田 和子（武庫川女子大学）、小林 浩明（北九州市立大学）
日本語教育学におけるセルフスタディの可能性

【指定討論者】

武田 信子（一般社団法人ジェイス）

【企画趣旨】

セルフスタディ（Self-study）とは、教師教育者（大学教員等）が、自らの実践に注目し、教育観や実践上の葛藤・困難について協働的に探りながら、「教えることを教える」ことの方略や制度上の課題を提起する研究方法論である。アメリカを中心に西欧諸国で広まってきたが、現在日本においても徐々に受容されつつある。

本ラウンドテーブルは、2022年度中四国教育学会「セルフスタディができる教師を育てる—教師と教師教育者のディスカッション—」の続編である。今回は（1）教師教育者／研究者（大学教員）がどのようにセルフスタディを受容しているのかを把握して日本の現状を描写する、（2）セルフスタディに関心を寄せる研究者・教師教育者等の交流とコミュニティの拠り所となる場を提供する、の2点を目標に実施する。セルフスタディをテーマに科研費を取得している教師教育者を招き、研究のきっかけ、過程と成果などについて参加者と対話形式で議論する。

